

# 深川めしとは

江戸時代、江東区の永代、佐賀周辺は深川浦と呼ばれ、潮が引けば砂地が広がり、アサリ、ハマグリ、カキ、アオヤギなど、多くの貝類が採れました。

漁師が仕事の合間に食べる賄いが、現在の深川めしのルーツとされています。海水を真水で薄めて沸かし、それにアサリ、長ネギ、豆腐を煮た澄まし汁を冷や飯にかけたり、塩ゆでしたアオヤギをご飯に乗せて食べたと言われています。

やがて屋台や一膳飯屋の手軽な食事として、味噌や醤油で味付したアサリ汁をご飯にかけた“ぶっかけ”が出されるようになり、家庭ではアサリを入れた“炊き込み”などが食べられるようになりました。



ぶっかけめし



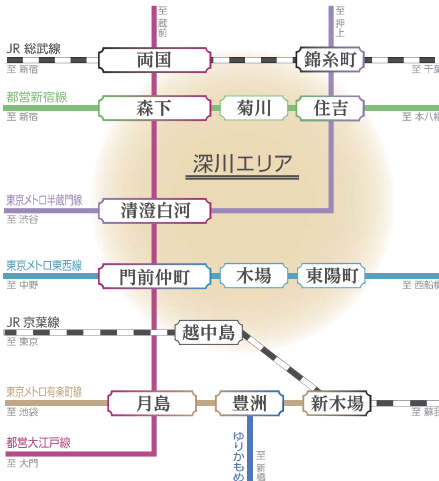
炊き込みご飯

現在では、伝統的なものからオリジナルまで、様々な店が特徴を活かした「深川めし」を提供しており、食べ比べをするのも楽しみの一つとなっています。

東京都が紹介する東京ローカルフードでは、「深川めし」は江戸時代から愛され続けている東京の郷土料理として紹介されています。



## 深川へのアクセス



### Koto Travel Information Bureau 江東おでかけ情報局

江東区の観光情報は  
江東区観光協会の公式Webサイト  
「江東おでかけ情報局」をご覧ください。



[江東おでかけ情報局](#)



発行/令和7年9月  
一般社団法人 江東区観光協会  
TEL:03-6458-7400  
デザイン/株式会社細野ライフデザイン

# 深川めし

## 食べ歩き マップ

一般社団法人 江東区観光協会

## 周辺の観光スポット



### 口 深川江戸資料館 ぶかがわえどりょうかん

江戸末期の深川佐賀町の町並みを実物大で再現。お店や長屋に上って生活用具などを実際に手に取ることができる体験型の展示になっています。また、音響や照明などで情景を演出。一日の移り変わりを楽しめます。

**住所** 白河 1-3-28 **電話** 03-3630-8625  
**開館時間** 9:30～17:00 (入館は16:30まで)  
**料金** 大人400円/小・中・高校生等50円  
**休館日** 第2・4月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始



### 口 清澄庭園 きよすみていえん

泉水、築山、枯山水を主体にした、明治を代表する回遊式林泉庭園。三菱グループ創始者 岩崎彌太郎が「深川親睦園」の名で開園しました。関東大震災後、東京市に寄付され、昭和7年(1932)に清澄庭園として公開。都指定名勝。

**住所** 清澄 3-3-9 **電話** 03-3641-5892  
**開館時間** 9:00～17:00 (入園は16:30まで)  
**料金** 一般150円/65歳以上70円 (無料公開日みどりの日、都民の日)  
**休館日** 年末年始



### 口 成田山 深川不動堂 なりたさん ぶかがわぶどうどう

千葉県成田市にある成田山新勝寺の東京別院。元禄16年(1703)以降、永代寺境内で度々行われた出開帳を起源とします。開創310年記念事業として建立された本堂の外壁は、不動明王のご真言に包まれた「真言梵字壁」になっています。堂内には、手軽に四国遍路を体験できる「四国八十八所巡拝所」や約1万体のクリスタル五輪塔が並ぶ「祈りの回廊」などがあります。

**住所** 富岡 1-17-13 **電話** 03-3641-8288



### 口 深川東京モダン館 ぶかがわとうきょうもだんかん

昭和7年(1932)に建築された国登録有形文化財「旧東京市深川食堂」を活用した施設です。1階はまちあるき案内所となっており、観光に関するパンフレット・リーフレット配布のほか、江東区文化観光ガイドがまちあるきツアーを実施しています。

**住所** 門前仲町 1-19-15 **電話** 03-5639-1776  
**開館時間** 10:00～18:00  
**休館日** 月曜 (祝日の場合は翌日)

※まちあるきツアー(11:00～/14:00～の1日2回実施)・無料・予約不要



### 口 芭蕉記念館 ばしょうきねんかん

江戸時代の俳人・松尾芭蕉の「芭蕉庵」ゆかりの地にちなんで開館。近世から現代までの俳文学資料を所蔵し、企画展などで随時公開しています。また、隅田川沿いの分館屋上には史跡展望庭園があり、四季折々の水辺の風景に触れることができます。

**住所** 常盤 1-6-3 **電話** 03-3631-1448  
**開館時間** 9:30～17:00 (入館16:30まで)  
**料金** 大人200円/小・中・高校生等50円  
**休館日** 第2・4月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始

※芭蕉庵史跡展望庭園(9:15～16:30) 無料



### 口 富岡八幡宮 とみおかはちまんぐう

寛永4年(1627)、当時永代島と呼ばれた小島に八幡神像を奉安したのが始まり。江戸の昔から現代に至るまで、多くの人々の信仰を集めています。また、江戸三大祭の一つ「深川八幡祭り」は、3年に一度本祭りが催されます。別名「水かけ祭り」とも呼ばれており、沿道の観衆が担ぎ手に向かって豪快に水を浴びせる様子は必見です。

**住所** 富岡 1-20-3 **電話** 03-3642-1315